

都農町地域資源マップ 13班 (赤坂玲 松浦圭吾 黒岩姫夏 倉内咲希)

①名貫川

今まで見た川の中で一番綺麗だった。川の水がすごく澄んでいて川底まではっきりと見えた。詳しく調べたところ、「名貫川渓谷」という観光名所になっていて、溪流釣りの好ポイントとして有名である。加えて、川のところどころに河川遊泳場が設置されており、自然と触れ合えるだけでなく、地域住民の交流の場所となっている。(赤坂)

②トーヨータイヤテストコース

今回は、試験を行っているところを外から眺めることしかできなかった。
調査してみると、1975年に設立され、日本初のタイヤ専用テストコースで約15万㎡の広大な敷地を持つという。国内外におけるタイヤの安全基準へ対応するために、実車による開発評価試験を約30種類ものさまざまな路面条件(デコボコや水を張った道など)を想定したコースで実施され、厳しい基準で試験を行なわれているようだ。さらに、宮崎県警の運転訓練や自動車メーカー販売店や従業員向けの最新タイヤ体験会も開催している。(黒岩)

③成田果樹園

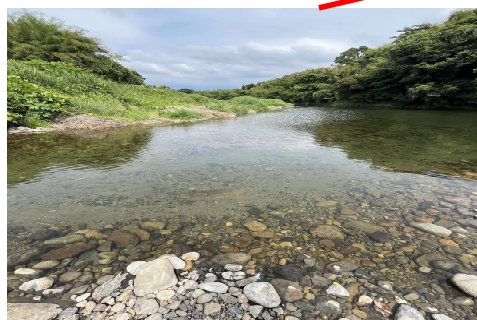
一房4000~5000円ほどする富士の輝やシャインマスカット、涼夏という梨などを栽培している。お話を伺うと、シャインマスカットは水を好むため、1日1回はスプリンクラーで水やりを行っているようだ。また、昼夜の温度差をつけることで品質が良くなるため、夜はハウス内を冷やす工夫もしている。さらに、果物を買いに来てくれた親子連れなどにサービスでマスカットを渡すことがあり、その際に喜ぶ姿を見ると、とてもうれしい気持ちになると話されていた。実際に私たちもマスカットを試食させていただいたが、とてもみずみずしく甘く、美味しかった。生産者の方のこだわりを感じることができた。(倉内)

④記念碑

フィールドワークで歩いている途中にいくつかの記念碑を見つけた。調査をすると、土地改良事業の完了を記念して建てられた「竣工記念碑」というものだった。昭和63年度から行われていた「県営土地改良事業」の完了を記念して建立されたかつてこの土地は道が狭く、農作を行うには困難な土地だったが平成元年3月に工事が完了した。事業にかかわった人や事業費なども書かれており、当時の町長の名前も刻まれていた。昔の人々が苦勞して農地を整備したことを後世に伝えるためのものだと考えた。(松浦)

⑤蛇に注意！

この周辺を通った際に、実際にヘビと遭遇した。そのため、特に暗い時間帯にはヘビに気付かず近づいてしまう可能性があり、思わぬ事故やけがにつながる危険性があるため注意が必要である。安全に通行するためには、懐中電灯などを使用して周囲を確認しながら歩くことや、草むらの近くを避けて歩くことが大切である。(黒岩)



感想

街を散策してみて、田んぼや畑が多く閑静な街だと感じた。T字路が多い割にはカーブミラーが少なく街灯もほとんど見られなかった。暗い時間に出歩くには危険な地域であると感じた。しかし、街には田んぼやビニールハウスが点在し、生き生きとした様子で農業に励む高齢の方々がたくさんいるようだった。訪問できる場所が限られていて、思うように訪問やインタビューを行うことができなかったが、成田果樹園の方々が優しく迎えてくださった。国の事業として、もともとぶどうの木がなっていたところに、上からビニールハウスを建ててもらったことや、ぶどうの品種・収穫時期、ぶどう農家としての苦勞を教えてくれた。おいしいマスカットも頂き、今回の実習はよい経験となった。

反省点としては、あまり事前学習に力を入れることができず、当日も計画を立てて挑むことができなかった所だ。事前学習の際に、あまりめばしい情報や施設が見つからずこういう結果を招いてしまった。次の機会では、もしそういう状況になっても満足のいく実習を行うために、新たな視点を養っていきたいと思う。人口や交通、住民が利用する商店、公共施設、伝統などの新たな視点から、地域を観察できるようにしていきたいと思う。